

平成30年度運輸安全マネジメント事故防止目標

《社長コミットメント》

指 針

「輸送の安全は経営の根幹」であることを全員が認識・徹底し、安全運行の体制づくりに積極的に関わり、事故を起こさない会社風土の醸成と構築を再度決意し実行する。

具体的 目 標

1. 重大事故（大臣報告事故）の絶無
2. 責任事故は前年の3割減
目標42件以下
3. 追突事故と後突事故は前年の3割減
（「ゼロ1、ゼロ2、ゼロ3」の実践）
 - (1) 居眠り運転の根絶
 - (2) 構内における後突事故の根絶
4. 決め事の遵守と運転マナーの向上
 - (1) ルール厳守と運転マナーの基本である思いやりのある運転の励行
 - (2) 「安全運転3原則」、「安全確認4ポイント」及び「安全運転指差呼称10カ条」の実践
5. 厳正、確実な点呼の実施と記録
 - (1) 安全確保のための厳正な対面点呼とその都度の記録
 - (2) 運転者の適性検査に基づき個別点呼の実施
6. 労働時間等の改善基準告示を遵守する働き方改革
 - (1) 「自動車運転者の労働時間等の改善基準告示」の厳守（超過勤務60時間以内の厳守等）
7. 適正な車両管理
 - (1) 確実な日常点検と定期点検の実施
 - (2) 車両5Sの実施
8. 「輸送の安全確保」に関するPDCAの展開
 - (1) 「安全会」の充実と「決め事の遵守」の徹底
 - (2) ヒヤリ・ハットの情報収集と積極的な活用